

整理番号	26001
評価対象年度	令和3年度
編成区分	11月補正

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年10月5日
事業担当課	高齢者すこやか支援課

《基本情報》

事務事業名	高齢者交通費助成費	<input type="checkbox"/> 新規
		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	F2 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	高齢者が	生きがいを持ち、地域で支え合い安心して暮らしている。
個別施策	F2-2 高齢者の社会参加を促進します	
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	高齢者が	できる限り要介護状態にならないよう、生きがいを持ち、自立した生活をしている。

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	令和3年度からICカードを活用した交通費助成を開始したが、合併地区や周辺地区など、助成に必要なポイント交換機が近くに設置されていない地区がある。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	ICカードにより助成を受ける者(以下「利用者」という。)が身近な地区でポイント交換ができ、交通費助成を受けることができる。
課題(どういことをする必要があるのでか)	利用者の身近な地区でポイント交換ができるよう、必要な場所にポイント交換機を設置する。

上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ (無) ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ (無) ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	令和3年度から、高齢者のバス、電車内での運賃支払時の安全性や利便性向上のため、ICカードへの助成を開始したが、助成ポイントを電子マネーに交換するポイント交換場所が、交通事業者の営業所窓口やICカード提携店に限られている。合併地区や周辺地区では交換機がないため、各地域センターにポイント交換機を設置し、利用者の利便性の向上を図るもの。
	<p>設置想定場所</p> <p>エヌタス据え置き型: 4カ所(中央・西浦上・滑石・三和・琴海)</p> <p>エヌタス簡易型: 14カ所(上記の5カ所及び高島地域センターを除く14地域センター)</p> <p>ニモカ据え置き型: 5箇所(中央・西浦上・滑石・東長崎・日見)</p> <p>費用: 20,620千円</p> <p>導入費用: 20,620千円</p> <p>エヌタスTカードポイント交換機(据え置き型) 3,050千円 × 5カ所 = 15,250千円</p> <p>エヌタスTカードポイント交換機(簡易型) 30千円 × 14カ所 = 420千円</p> <p>nimocaカードポイント交換機(据え置き型) 990千円 × 5カ所 = 4,950千円</p> <p>運用費用: 5,796千円</p> <p>(内訳) 1月あたり 483千円</p> <p>エヌタスTカードポイント交換機(据え置き型) 30千円 × 5カ所 = 150千円</p> <p>エヌタスTカードポイント交換機(簡易型) 12千円 × 14カ所 = 168千円</p> <p>nimocaカードポイント交換機(据え置き型) 33千円 × 5カ所 = 165千円</p>

業務量の増減	302時間の増(地域センター業務)					
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働					
	民間施設等への設置については、引き続きICカード事業者が行っていく。					
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (R3年度～R3年度)					
予算額	金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	20,620		900	19,720	0
	総額					
	財源名称	過疎債、いきいき長寿社会基金				
成果(活動)指標	指標(単位)	交付対象者が実際に交通費助成を受けた精算率(%)				
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標値	88.3	88.8	89.3	89.8	90.2
	成果指標及び目標値の説明	ICカード導入前で新型コロナウイルス感染症の無かった平成30年度以前の水準に5か年で戻すことを目標としている。				

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>高齢者の社会参加を促すため、外出機会を増やす目的で交通費助成を行っている。ICカードの助成ポイントを電子マネーに交換する場所が限られているため、交換機がない合併地区等では、利便性が十分でない状況である。</p> <p>今回、利用者の身近な地区でポイント交換ができるよう、各地域センター所管のカード登録者数に合わせた設置を行うことで高齢者の外出機会を促すことに繋がることから、事業の拡大は妥当である。</p> <p>ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。</p>	
<p>【事業実施に対する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エヌタスTカード」のポイント交換機設置については、費用対効果の面から考えて、簡易型の設置を基本として、設置内容を再整理すること。 ・今後とも利用者の利便性を向上させるため、商業施設等での交換機設置について、関係所属と連携した上で、民間事業者と協議するなど検討を行うこと。 	